



品川區政ニュース

No.120

発行所
品川區北品川三丁目
品川區役所
発行人 吉野 謙吉
月1回発行

お正月はこれで

楽しい料理の講習会

お正月料理をもつとおいしく、たのしくと社会教育課では、希望者40名に「お正月料理の講習会」を12月9日、町田学園女子高校（南品川5-227）で午後1時から行った。

小鯛の生寿司とかね和之紅梅餅かんてん、蜜柑よせ、島の松風焼等四品の料理で材料費はすべて金百円也。



1955年
さよなら

子供会

教育委員会主催の一九五五年きよなる子供会が十二月二十六日午前十時から大井第一小学校で、午後一時三十分からは三ツ木小学校で行われる。

東京児童芸術協会のお見さん、お結様やお友達が、手品、唱歌、紙芝居、クイズ等をして下さる。

鍋木区長退職

去る十二月二十一日に



去る八月二十八日以後高血圧で入院加療中であった品川區長鍋木忠正氏は、その後在野の内野病院で入院加療中だが、高血圧、胃腸障害、心臓肥大、神経衰弱の病状で、その病状も重いため「病氣のためその任にたえない」という辞職願を十一月十日、区議会議長北川清右衛門氏に提出した。

この辞職願は十一月二十一日の第三回品川區議会議臨時会で承認されたので同日付で鍋木忠正氏は品川區長を退職した。

鍋木忠正氏は、昭和二十二年四月の区長選挙、二十六年の区長選挙と公選による区長として再度当選、昭和三十年四月の任期満了まで八年間、更に地方自治法の改正後、本年五月二十一日、区議会によつて選出するいわゆる間接選挙による初の区長として現在まで区政にたずさわつて来た。

12月中の行事とお知らせ

品川區中小企業年末資金融資申込受付 一〇日
社会教育研究大会 一〇日
（山中小で午後一時から）三日
商工相談（在野支所で午後一時）五日
人権擁護相談（飯倉デパート前で午後九時）八日
（武蔵小山駅前で午後一時）九日
お正月料理講習会（町田学園で）九日
品川区マラソン大会 一八日
（在野支所前午前十一時）二六日
一九五五年きよなる子供大会 二六日

世界人權宣言七周年

|| 守ろう自由と権利 ||

十二月十日は、國際連合總會で歴史的な世界人權宣言が採択、布告されてから七週年目にあたります。

最川氏ではあるが、人権が守られるところ、人権擁護機関から任命された房の人身保護機関員に任命された人権擁護機関員を毎月八日に最川氏役所午後一時から八時に開いて、の公務員、暴力行、脅迫、不法監禁、私訴、誹謗中傷、人身侮辱、児童虐待、著名信用人の侵害、生活保護受給者、著名信用人の侵害、は「泣き寝入り」をすることなく相談に来て、近々堂々と人間として正しい自力を發揮して下さい。

豊川地区では、十二月一日から区内の中小企業者・漁業業者に対し総額二千百万円の年末資金の融資を行なった。

これは、区内の中小商店工業と漁業の振興をはかるためのもので、区内から振出資金金庫への年内の金融機関への店舗総額七百万円の資金を預託し、各金融機関は預託額の三倍に相当する額を、一人一口十百万円以内で融資した。

来年四月に小学校に入学する供養を御持つの御家庭に、二月二十五日「就学通知書」が配られました。

この就学通知書は、区役所の養護所に、住民登録されている児について調査の上作成されています。すでに住民登録がしてあることになり、その中でまだ住民登録していない方は、至急印鑑を持参して、所轄の出張所におでかけ下さい。

学区内における水と人間との関
係(富士見台一年)
通学区域を中心として蚊の発生
について(在席三二年)
アニーバーの研究(富士見台中
年)
品川区の碑文について(在席四
一年)
北海道の言語活動の一考察(富
士見台中二年)
等十八件だった。

土 中 に 係

文化人クラブで

「ノミの市」

売上金で、区内の要保護者、引揚者や児童に歳末の贈物をしようと、品川区文化人クラブ（会長宮川英治氏）主催による歳末たすけあい「ノミの市」が今年も大井町駅前阪急百貨店四階で、十二月十六、十七、十八日の三日間行われる。

会員及び有志の方々から出品された絵品、漁品の販売が行われる他、吉川会長及び会員や有名人の揮毫による色紙、短歌の販売、山根寿子さん、島倉千代子さん、岩井準四郎氏のサインデーがある。

科学と取りくむ豆科学者
一年間の研究結果を発表

の研究の発表など、品川区立小中学校校
 友会生徒のこの一年間に行われたクラブ活
 動研究の発表会が、十一月二十五日朝
 九時半から正午三時まで区立芳水小
 学校講堂で行われた。

品川区教育委員会、教育会が生徒の研
 究心をたかめ、理科、社会科について生
 徒の観察眼を向上させるために行った研
 究発表会も、これ三日目。こども達の
 観察眼も年々精進つて来まして、発表
 紙の内容も充実していますと先生達もうれ
 しそうだった。

この日発表にわたったものは、
 昭和の観察日記(第一「延山小三年」)
 とうもろこしの観察(「山中小二年」)
 気象観測の方法(芳水小六年)
 釣虫の一生(皇路小四年)
 もんちについて(第一「野小六年」)
 どうして蝶の一生(小山台小四年)

(写真は品川区の碑文を説明する書腰四
 中の一年生たち)

「ノミの市」

売上金で、区内の要保護者、引揚者や貧児に課税の補助をしようとする、品川区文化人クラブ（会長吉川英治氏）主催による課税たすけあい「ノミの市」が今年も大井町駅駅前阪急百貨店四階で、十二月十六、十七、十八日の三日間行われる。

会員及び有志の方々から出品された絵品、漁品の販売が行われる他、吉川会長及び会員中有名人の揮毫による色紙、短筆の販売、山根寿子さん、島倉千代子さん、岩井洋四郎氏のサインダーがある。

—3

もう大丈夫／

浜川小の地下道工事に着工

沢川小学校の運動場は、交通の
 はげしい道路をへだてた外にあり
 り、運動場に行くには、この道路
 を横切らねばならないので、児童
 生徒は非常に危険であった。
 設けられる地下道は市二・五ム
 トル、高さ二・五米で、来年二
 月中旬に竣工予定。工費一七〇
 万円。PTAや児童連連も、日々
 働きを待っている。



(下) だがいよいよ地下道工事が始められた

十三の保育園に
三輪車をプレゼント

区内十三ヶ所の公立、私立保育園に今年は何のプレゼントを送ろうかと、頭をひねっていた民生課では、このほど三輪車を贈ることになり、十二月二十四日には一保育園に二台ずつ届けられる。

旧通帳
(米部)

今年中は有効

都 和 人

尿くみとり

吸上車で能率向上

「くみんりの料金は勢を衰え支拂うようになつてからば、さうして浪区に來てたといふ品川一丁目原民の苦情に対しては、品川の清澤事務所では、次の理由を説明し、區民の了解と協力を望んでゐる。従来區役所出張街で取つてゐた浪区浪取者の販売をやめてその他の区内自治団体で取扱うこととし、浪取者資料の價値は、全国的に渡取後を方面の慣例とするに渡取の普及や徹底は九五年度に及んで然らず。浪取者の數増減を要する十月十日に、各町・區長の天候が続いたため、雨後の暴風排出が急激に増加し（九月半に比し約三〇%の増加）、全部をあけて渡取経過の數を減らしてしまひ、品川区では、平常十五日六石の俵が二十日余に達し、五十坪の面積と二丁目に、皆からの苦情をいただくことになりました。

この取扱遲延が、再度浪取者の販売と滞りたため、浪取者の販売を便すようになり、作業員の収入が減少となり、労働意欲がなくなつて人が出ないか」といふ疑問を持つ人が出たため、再びふくらむ様子が現れてゐる。事實は、浪取の用途には今後一層の御協力をお願ひ致します。」

この取扱遅延を解決するため、

区民マラソン大会

マツ十八日、品川区保健所の
 民タツシ大会が、在寮委員等、多
 摩川丸子橋間往復一万一千米のコ
 ースで行われる。
 品川区民ならだれでも無料で参
 加できる。申込は十二月十五日迄
 品川区教育委員会、社会教育課
 体育係(品川区品川三丁目二四四)
 まで申込むこと。電話で申込もで
 きる(49)六二七九。
 十二月十八日当日は小雨でも行
 われる。発走は午前十時三十分

—3

冬の衛生

ジフテリア

今年は重症型

今年はジフテリアが大流行の兆しを示している。九月以来の発生率は昨年の倍近いスピードで、九月末現在八八二人（うち死亡五〇六人）に達している。今年は特に重症型で死亡者が多くなっている。

昭和二十八年の精密統計によるとジフテリアについては最も高い罹患率を示しているのは一歳（人口十万人に対して六〇・六）で次いで三才（同五五・九二才）（同五四・五）四才（同五四・〇）の順で以上平均の増加に達つて漸次減少しているが、〇才・四才がジフテリア患者数の半分以上に及んでいる。

危険！

炭火の中毒

寒くなつて密閉した部屋で炭火を用いるようになると、炭火から発生する一酸化炭素に中毒する目まいがしたり、気分が悪くなつたりする。密閉した部屋で炭火を使う場合は時々部屋の空気を新鮮な空気に換へるよう注意しなければならぬ。

「かまぼこ」の食中毒に注意

年末から年頭にかけて「かまぼこ」「なます」等の練製品を使うことが多くなり、粗悪品、不良品による食中毒も多くなつて来る。ねばつくり、どきつ色のつないだものは注意しなければならぬ。それ以上のことになると科学校食によらなければならぬ。買つた方は安心である。

土木工事

区内では、道路や水路の舗装工事など土木工事が行われている。

舗装工事

◎東大崎四丁の一九九から三の四丁に於ける外一落線の普通式瀝青乳剤舗装、面積一九〇平方メートル、竣工予定十二月二十二日、工費五十一万円。

◎大井町四丁の三〇から三の四丁に於ける外一落線の普通式瀝青乳剤舗装、面積一五〇平方メートル、竣工予定十二月二十日、工費五十一万円。

◎五反田一の四三から一五四丁に於ける外一落線の普通式瀝青乳剤舗装、面積一〇七平方メートル、竣工予定十二月二十八日、工費八十二万円。（失策対策事業）

◎大崎本町三の五九から四の七八一に於ける普通式瀝青乳剤舗装、面積二、〇七〇平方メートル、竣工予定十二月二十八日、工費八十二万円。（失策対策事業）

◎水路改修

◎西品川一の八八外一丁所の水路改修、鉄筋コンクリート欄干

建設費〇・九メートル乃第一、八メートル、掘削一・九メートル、乃至二メートル、延長三四五メートル、竣工予定一月二十五日、工費九十九万二千元。

東品川公園に

野外ステージ

東品川公園（東品川四丁目、城南第二小学校前、二七二六坪）にドーム型の屋根をもつた野外ステージの建設工事が進められている。これは十月十四日に着工され、これが完成すれば、区民野外音楽会等もここで行われることになる。

将来、周囲に芝生を植え、ベンチを並べて、日比谷の野外音楽会場の様に、区民のレクリエーションの場として利用されることになる。工費は八二十四万円。

十二月の配給

お米23日分

十二月分の米の配給は、家庭用は、内米四日分、準内米二日分、外米四日分、計十五日分のはか、正月用特配内米三日一日分先配内米二日分、合計二十日分と先配内米二日分を配給することになった。

家庭用一般配給は、次の通り

第一内米四日分を十二月三日から十五日までに

第二内米四日分を十二月十一日から二十日に

第三準内米二日分を十二月十三日から二十日に

第四内米四日分を十二月十八日から二十日に

第五内米も十五日分を十二月二十日から二十五日に

区勢の動き

(30年10月中)

人口異動	世帯数	人口			結婚	離婚	出生	死亡
		男	女	計				
品川	55,446	107,402	101,378	208,780	103	10	122	21
在	42,608	84,290	79,784	164,074	90	15	171	49
計	98,054	191,692	181,162	372,854	193	25	293	70
人口異動	道府県間転入転出	都内転入転出			内転入	内転出	増減	その他
		品川	品川	計				
品川	1,270	1,116	969	1,342	1,081	968		
在	802	611	585	1,013	759	517		
計	2,072	1,727	1,554	2,355	1,840	1,485		
議会	特別調査委員会5回	公企建設委員会1回	10月迄不納欠損額					
税金	決定額累計	10月分収入	10月分収入累計	未収入額	徴収率			
	596,931,026円	51,611,842円	231,755,284円	5,110,671円	38,89%			
基礎	消費者家賃用	加配米	内地米	準内地米	外地米			
配給	内地米10日(1413屯)	準内地米2日(282屯)	外地米3日(424屯)	その他用(89屯)	(0屯)(44屯)			
五反田町安	新規の求職者	手持の求職者	新規の求人	手持の求人	紹介	就職		
職業紹介状況	一般	4277	12805	2318	3161	3010	1330	
	日雇	204	2799	78581		80350	73439	
火災	罹火物件	建物・器具・什物・車体・建物内収容物	船舶・車庫内収容物	その他	損害額			
	8	4	6		2,776,795			
原因	電気的	化学的	熱的	火気の蔓延	材質不適	不良	使用法の不良	交通機関
原因	2	2	2	3	3	1	4	1
基金許可	教育関係10件	878,000円	其の他2件	170,000円	計12件 1,048,000円			

御用初めは四日から

区役所、在原支所の就新は十二月二十九日（出張所は三十日正）から、来月一月四日まで休になります。左記の事務は延長して受付けます。

外国人登録受付及び切替

十一月三十日午後五時まで

区役所の納入受付

十一月三十日正午まで

印鑑証明

十一月三十一日正午まで

住宅金融公庫審査受付

十一月三十日午後五時まで